

岳景 学び つながり 切り拓く

帯広市立八千代中学校



ありがたい 今年も冬が やってくる

令和6年11月20日(水) No.8 校長 嘉藤 貴充



中学生からのメッセージ

Aさんに寄せて

古今東西、どれだけ多くの方がこの疑問を心の中でつぶやいたかわかりません。全ての方がきっと一度は心の中では抱いているのではないのでしょうか。その疑問とは、

「幸せとは何か」

悟りとは何かということもありますし、どうしたら自分は幸せになるかということもあります。

.....

Aさんは「中学生からのメッセージ」の発表練習を放課後、暗くなるまで取り組んでいました。その最終日、担当のO先生に頼まれて、校内最終リハーサル場に臨みました。辺りがすっかり暗くなった夕刻。静かな静かなフレンドホール。原稿用紙5枚の暗記というのは大変です。

メッセージの内容は自分の体験に基づいて、気づいたことを淡々とつづるもの。校長からAさんへの言葉は「大事なことで言葉にすると実はすごくシンプルだよ」でした。

「幸せはいずこと思えば見つからず、幸せはこれと思えば
幸せは大きく降りそそぎ」

という言葉があります。

「幸せは こんなものかな 半分こ」

という言葉があります。

「幸せとは、失う前に、そのありがたさに気づくことである」

という言葉があります。



こんな言葉たちを思い起こさせるようなAさんの中学生からのメッセージでした。地元新聞にも掲載されたように、とても温かい表情で視線を配り、聴衆を惹きつけていました。

←休憩時間のAさんとO先生こと小田上先生。



↑やりきった感あふれるAさんと荒尾流星さん。

人知れず練習した放課後のフレンドホールは上質な静けさに包まれていました。



↑他校の参加者と一枚。



やってきました 清川交流 今年は清川中会場

今年も恒例の清川交流を行ってきました。会場が隔年で交代することになっているようで今年の会場は清川中学校でした。

ジェスチャーゲーム・イントロクイズ・ミニバレー大会という3つのメニューが企画されていました。

知らない人と旧知の仲のように交わえるというのは本当に素晴らしいなと感じました。人は非日常を楽しめる人と楽しめない人に分かれるといいます。学校教育目標を圧縮して五七調にしたものが「学び・つながり・切り拓く」ですが、大きな行事も修学旅行も、ときどきやってくる大きな試験も非日常といえます。是非、「学び・つながり・切り拓く」の精神で邁進してほしいと願っております。



↑グループ対抗 ジェスチャーゲーム。いくつになってもこのゲームは楽しい。



↑壁が見にくいほどの人影。体育館の空気がいつもと違いました。

←かなりくだけたポーズの集合写真も撮りましたが、ここに掲載するのは、こんな感じに。清川中生と八千代中生が混ざるように並んでいます。



秋の実り コンサート

帯広市教育委員会の支援を賜り、音楽科時間講師田中尚文先生のご縁で

帯広工業高校の吹奏楽部と音楽関係者をお呼びして、コンサートを実施しました。小規模だからできることの企画として、演奏者のすぐ隣で音を「聴き」、「震える」・「しびれる」体験をしました。レコードやCDがない時代の音楽は全て生演奏でしたので、ごく一部の人（たとえば貴族）にしか味わえなかったものです。そんな生演奏を貴族が聴いていたような絶妙な近距離で聴くことができました。



↑太田究先生（左）と指揮棒を振る松田蓮叶さん（右）。曲はカントリーロード。



ごおそらく史上初の吹奏楽部による八千代中学校校歌演奏。楽譜もいただきました。実は八千代中生は音楽にも関心が高いです。地域の方のご来場ありがとうございます。

